

2022年11月19日 カシガリ山1616m

メンバー：L谷内 岩田 辻 児玉 小嶋 (唐沢) 朝倉

カシガリ山は霧ヶ峰の右端に拳骨をくっつけたような姿でよく目を引いていた。富士見台駐車場からたどれば困難もなく山頂まで来ることができるだろうが、麓から山頂までトレースしたいと思っていた。4階の病室から共に見た山容が印象的で心にずっと引っかかっていた。そんなときの計画だったからすぐにこの指にとまったのだった。

朝倉山への山道は檜を主体にした落ち葉に覆われていた。両側には小さな石碑や石像がいくつも置かれていた。山頂は中央がややくぼんだ城跡になっていて東側は少し低い平地になって眺望がよく逆光の八ヶ岳が望まれた。更にそのまま進んで檜の暗い植林地を左に下ると車道に出てすぐに旧不燃物集積場の跡地に出た。

地形図とコンパスを駆使して尾根をたどっていく。樹林の中だがその葉をすっかり落として日差しがこぼれて暖かい。落ち葉の上を歩くのが爽快だ。晩秋の頃の山の良さだろう。

1267.8m 三角点を踏んだ。カシガリ山が木間越しに覗かれる。この辺りから麓の塩沢地区の塚改めの赤白のポールにピンクテープの目印がずっと続いていた。あまり歩かれていない風ではないが登山道らしい切り開きはその先にはあった。地形図どなりに現れる林道もあれば地図にない林道も現れる。20~30頭程の鹿の群れが移動していった。左に下山に使う尾根を見送った。

傾斜が急に増した。カシガリ山のカシガリの絶壁部分であった。それまで心地よかった落ち葉が滑る。散乱している平石を落としてしまいそうだ。木の幹につかまりつつ喘ぎながら急登を登りきると山頂だった。山頂の眺望はあまりよろしくないが北面は茅の原の向こうに車山の稜線があり蓼科山から横岳へと連なっている。

山頂でゆっくり時間をかけた後下山にかかった。急斜面の部分は慎重に下ったがその後は林道に出るまで手ごろな傾斜で落ち葉を踏んで気持ちの良い下降路であった。最後にカモシカをちょっと笑って温泉に行った。塩壺の湯を出るとかしがったカシガリ山が正面にあった。

コースタイム：6：30 駐車スペースー7：15 朝倉山ー9：35 1267.8m 点ー10：00 1378m 点ー10：50 下山分岐ー11：20 カシガリ山 12：00ー14：05 駐車スペース